

活動記録簿

会派・議員名

公明党 三浦美代子

年 月 日	令和7年2月28日			
	みうら美代子市政報告2025冬号作成			
目的・内容・結果等	市政報告をするため			
活動に要した経費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
	小 計			円
	経費内容	金 額	内 訳	
	制作・印刷	87,560円		
	配布作業	88,355円		
		円		
		円		
		円		
		円		
	小 計			175,915円
合 計			175,915円	
備 考				

領 収 書

No. 1616

交野市議会議員 三浦 美代子 様

¥87,560※

2025年02月28日 上記正に領収いたしました。
但し、みうら美代子市政報告 2025冬号制作・印刷

内訳

現金

小切手

銀行振込

内消費税等

¥87,560

¥7,960

株式会社 EFlabo

〒571-0077 大阪府門真市大橋町 28-15-109
TEL: 080-5321-3954 / mail: info@eflabo.com

請求書

交野市議会議員 三浦美代子 様
576-0033
大阪府交野市私市6-18-28

請求日 2025-02-25
請求書番号 S-20250225477
登録番号 T2120001248310

株式会社 **EFLabo** エフラボ
山口実

下記の通りご請求申し上げます。

〒571-0077
大阪府門真市大橋町28-15-109
TEL: 080-5321-3954
Mail: info@eflabo.com

請求金額 **87,560円**

納品日	摘要	数量	単価	明細金額
2025-02-14	版下製作費	1 式	15,000	15,000
2025-02-19	印刷費	8,000 部	7.7	61,600
B4サイズ、両面フルカラー、二つ折り加工				
2025-02-19	送料	2 カ所	1,500	3,000
①(公社)交野市シルバー人材センター 8,000部 ②ご自宅 予備				

振込先 住信SBIネット銀行(0038)
法人第一支店(106)
普通 1901037
力)エフラボ

小計	79,600円
消費税	7,960円
合計	87,560円
内訳 10%対象(税抜)	79,600円
10%消費税	7,960円

備考

請 書

契約番号
24049054 号
令和07年02月

1. 件名 その他の屋外作業
 仕事の内容: 活動報告書の配布作業
2. 請負金額 88,000 円 (消費税を含む)
3. 履行期限 令和 7年2月21日 ~ 令和 7年2月28日
4. 履行場所 市内指定地域
5. 支払条件 銀行振込または現金

上記のとおり御請けいたします。

この金額は消費税込で計算し、円未満は切り上げています。
振込手数料については、発注者の方でご負担願います。

令和 7年2月14日

発注者 〒576-0033
交野市私市6丁目18-28

三浦 美代子 様

受注者 〒576-0034
大阪府交野市天野が原町5丁目5番1号

公益社団法人 交野市シルバー人材センター

理事長 奥野 章

払込受領証
(コンピュータ処理専用)

払込人 三浦 美代子 2005年 2月分	納付番号 24049054	受取人 公益社団法人 交野市 市シルバー人材セン ター	金額 88,355	内消費税 受領印
----------------------------	------------------	--------------------------------------	--------------	-------------

(コンピュータ処理専用)

〒 576-0033

交野市私市 6 丁目 1 8 - 2 8

三浦 美代子

( 様)

請 求 書

公益社団法人

交野市シルバー人材センター 

(登録番号: T1120005014536)

〒 576-0034 交野市天野が原町 5 丁目 5 番 1 号

T E L 072-893-0 4 3 0

F A X 072-892-6 7 6 1

振込先

関西みらい銀行 交野支店 普通預金No. 506650

J A 北 河 内 磐船支店 普通預金No. 4217497

ゆうちょ銀行 記号 00990-7 番号 104492

請 求 額

¥88,000

【請求内訳】 10% 対象 ¥80,000 消費税額 ¥8,000

仕 事 の 内 容

活動報告書の配布作業

受注番号

24049054

請求月

2025 年 2 月分

請求日付

3 月 7 日

支払期日

請求書到着から
10 日以内

このたびは、当センターをご利用いただき誠にありがとうございます。

上記のとおりご請求申しあげます。ご不明な点がございましたら、当センターまでお問い合わせください。

◆コンビニエンスストア専用払込票の金額は振込手数料 (355 円) が加算されています。

◆センター窓口ではお支払いいただけません。

◆ネットバンキング等を利用して銀行口座へお振込みされる方は、手数料のご負担をお願いいたします。

見 積 書

1. 件 名 配布業務

2. 業務内容 指定地域に対する活動報告書1種の配布作業

3. 見積金額 88,000円 (消費税額10%込み)

配布1部あたり10円 (配布・仕分け・配布会員への配達料含む)

向井田・私市・私市山手・天野が原町・寺・森北・森南・
妙見坂・神宮寺・妙見東・私部南・東倉治1・2・3丁目
(合計8,000部)

配布料金 80,000円

消費税 8,000円

見積総合計 88,000円

上記のとおり見積り申し上げます。

令和7年2月14日

三浦 美代子 様

公益社団法人交野市シルバー人材センター

理 事 長 奥 野

章

❁ 市役所現庁舎を耐震化・長寿命化へ！

これまで市役所本庁は耐震能が満たされておらず、早期の耐震化・建て替えが求められて来ました。新庁舎建設については事業費の予算が100億円超えるとの試算が出たため、令和2年10月一旦白紙、再考するとなりました。

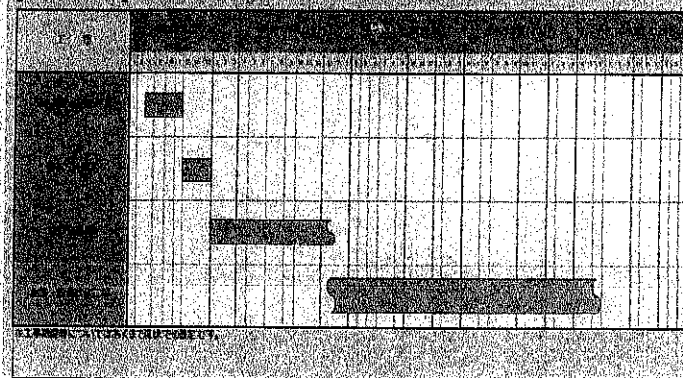
令和3年、本庁舎の構造耐震指標(IS値)を調査をした結果、耐震補強の実施によりIS値0.75の確保は可能という結果が出ており、耐震補強及び設備改修により現庁舎は20年～30年は活用可能と判明しています。

そこで、現市長は市の財政状況を鑑みて、市役所を耐震化・長寿命化する事に大きく舵を切り、令和5年7月工事手法や財政見通しが議会に報告されて、令和6年3月議会に上程。公明党は賛成致しました。下記が今後のスケジュールです。

【市の見解】 今般の本庁舎耐震改修は現在の財政状況を踏まえた上で、優先的な課題である耐震安全性を確保するための取り組みである。将来的な「庁舎の集約化・複合化」の方向性を否定するものではないと説明されています。

【公明党の見解】 本庁舎の耐震化は早急に実施すべきであるので市の方針には賛成。一方で長寿命化耐震改修事業をしても20～30年後には建て替えが必要となるため、早急に新庁舎の検討を開始すべきと考えます。

【スケジュール】



❁ 学校給食費の改定について

1月15日の全員協議会で市から説明を受けました。令和6年度は令和5年度と同額の給食費を保護者負担していただいておりますが、実は令和6年度は14,671千円(19円/1食)不足していました。この不足額は市の補正予算で補てんされましたが、令和7年度も31,626千円(9円/1食)不足の見込みです。そこで市は今回、1食あたり約28円(19円+9円)の値上げをする方針を発表しました。ただし、企業版ふるさと納税の活用で少なくとも令和7年度は、保護者負担は求めない方向ということです。3月議会で議決されれば決定されます。



❁ 能登半島地震の被災状況を視察

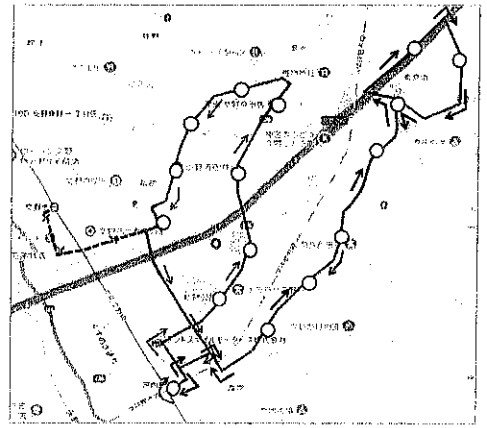
公明党交野市議団は、2024年8月に石川県輪島市を中心に被災現場を視察しました。厳しい現状を目のあたりにし、12月議会で住宅耐震化の現状について市の対応を質問しました。今後も、交野市の防災減災の取り組みや災害時の取り組みを強化してまいります。



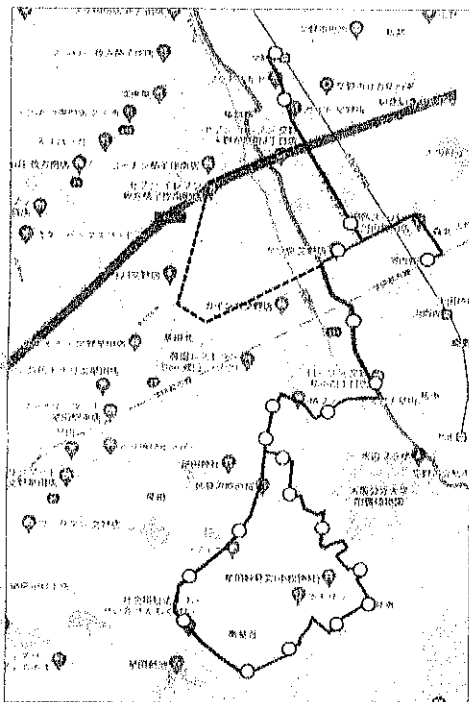
◆京阪バス撤退後の市の対応について

昨年の8月に京阪バスより、令和7年3月22日に市内バス路線から撤退するとの通告がありました。そこで市は、おおむね3年間の緊急対策として、京阪バスの路線を継続する形で市が運営するコミュニティバスを走らせることを提案、議会も承認しました。

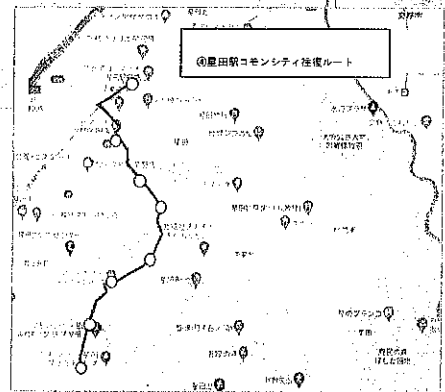
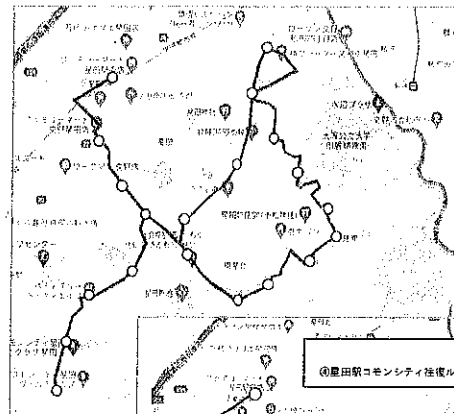
この運営経費は、年間約2億円。公明党は緊急対策として期限を決めていることから賛成しました。今後は利用状況などを見据えて、より良い移動手段を調査研究してまいります。尚、料金は一乗車につき、大人200円、子供100円です。障害手帳等を交付されておられる方は半額となります。



①東ルート



②西ルート



③南ルート

◆下水道基本料金の減免が実現！

昨今、あらゆる物価が高騰し、市民生活に多大な影響が出ていることから、公明党市議団は一昨年要望書を市長に提出し、その結果、重点支援地方交付金、約1億8千万円を活用し昨年1月から下水道基本料金の6ヶ月分の減免が実現しました。その後も上がり続ける物価に対し、引き続き下水道基本料金の減免が必要であると考え、市長に対して昨年7月、要望書を提出。その結果、市の一般財源を活用して、本年1月2月の検針分の減免が実現いたしました。



(令和6年7月)

◆投票支援カードの導入が決定

投票支援カードは、高齢者や障がいのある方で体が思うように動かずうまく投票用紙を記入できない方が気兼ねなく記入を依頼するためのカードです。今年の夏に実施予定の参議院選挙から導入されます。